

本市開設の相談窓口の相談内容とその対応について

コロナ禍において、本市も、市民生活の不安を解消するとともに、生活に困窮する方が増加すると考えて年末に生活相談窓口を開設されましたが、どのような相談があったのでしょうか。



〔福祉局長の答弁〕

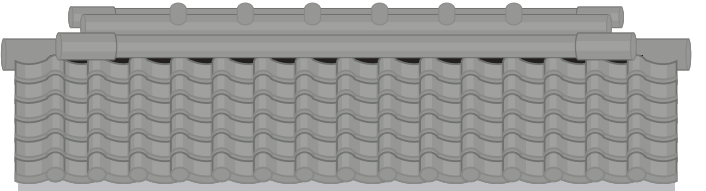
昨年12月29日と30日に実施した年末生活相談では、新型コロナの影響でパート収入が減少して困窮しているとの相談や、離婚を予定されている母子世帯からの今後の生活の不安に関する相談、あるいは首都圏の感染拡大に伴って金沢に避難してきた方から就労のめどが立たないといった相談など、合わせて62件の相談があった。

相談があった方に対しては、個々の状況や必要に応じて、生活保護あるいは緊急小口資金の貸付などの支援につなげた。

屋根瓦について

金沢の雨の多さや雪から、しっかりとまち並みを、古くから続く木造の建築物を守ってきたのは主として屋根瓦ではないでしょうか。

雨雪はもちろんのこと、見た目の美しさにもこだわる瓦職人は、伝統文化都市金沢にとってなくてはならない存在で、何気なく続く瓦屋根の一枚一枚にも瓦ふき職人の気概と経験がふき込まれています。木の文化都市・金沢を目指す本市として、屋根瓦についての見解を問います。



〔市長の答弁〕

金澤町家をはじめとする木造建築の保全・活用を推進していく中において、その景観の一環として本市はこれまでも歴史的まちなみや川筋景観を保全していく上で、黒瓦の家並みを重要な景観特性の1つとして位置づけている。

屋根瓦については、歴史的まちなみを保存すべき区域、川筋景観保全区域、居住誘導区域などで住宅等の瓦ぶきによる屋根工事への支援を行っており、今後も屋根瓦の積極的な活用を促していきます。職人大学校の中にも瓦科を設けている。今後、映像や手引書などの教材を充実させることにより、後継者の育成により一層努めていく。

金沢港の整備促進と周辺地域の活性化について

元小松製作所副社長で石川県の顧問である高橋良定氏は、金沢駅西活性化懇話会の総会において、港を支える根幹は積み荷である。貨物量の増加を目指す際、船と積み荷は鳥と卵の関係で、どちらが先か悩ましいが、とにかく両方を進めないと先には行かない、と御講演されました。

そのような意味で、本議会で提案された小口混載輸送サービスの確立に向けたトライアル事業は、まさにコロナ禍でクルーズ船事業が停滞する中、金沢港の活性化のための王道ともいえる事業と思われる。この事業の目的や詳細、地域に与える影響等についてお聞きします。

◎3月議会のその他の質問

本市SNSに寄せられる厳しい意見への対応について／本市としてのフォロワー拡大についての考え方と取組について／町会回覧板のひな形としてのSNS利用について／全ての人の暮らしを守るセーフティーネットについて／金沢MaaSの推進に向けたコンソーシアムの設立について／ひとり親世帯に関連する養育費確保サポート事業について

詳細は、市議会議事録HPを御覧ください。

金沢市のHP〈金沢市議会 録画映像〉で実際の質問の映像がご覧いただけます。

議員名から選ぶ



熊野盛夫



一昨年、富山大学で行われた日本グループ・ダイナミックス学会で、若者の投票率についてボード発表しました。たくさんの先生や学生さんと意見交換することができました。

皆様からのご意見、心よりお待ちしております。

info@kumanomorio.com

くまのもりお事務所

TEL.076-256-3757 FAX.076-256-3836

金沢市みどり2-6-2 〈自宅〉金沢市松村7丁目36-13

発行／金沢市議会議員 熊野盛夫

金沢市役所〈創生かなざわ〉

TEL.076-220-2448 FAX.076-223-0116

金沢市広坂1-1-1

HP随時更新!→



〔第10号の発行に際して〕

市民皆様の声こそが、市政の原点です。

新型コロナウイルスの感染が始まり、1年が過ぎました。国内外で感染者数は増減を繰り返し、その波の高さは徐々に大きくなっています。

この間、緊急事態宣言等の感染対策と、経済の円滑な進行のための対策の両立を掲げ政治は動いてまいりました。けれど、多くの現場や、市民から極めて厳しい、また切実なお声を頂戴しました。この1年間は毎月開催される金沢市議会の経済環境常任委員会において、それらの声を積極的に行政に届けてまいりました。また、本会議でも毎議会、一般質問を続けてまいりました。

来年度も、同じく経済環境常任委員として、委員会内においても、もちろん、本会議においても積極的に発言にしていきたいと思います。また、本年度立ち上げられたデジタル対策特別委員会においては、副委員長として、積極的に本市のデジタル対策を進めていく所存でございます。コロナ感染症対策としてもすすめるべき重要な施策です。

この問題に限らず、皆様を感じている身近な課題や疑問などございましたら、お気軽にお話しください。その声が市政の原点と受け止めて課題解決に努めます。この「くまのもりお通信」も、今号が一つの節目となる第10号となりました。ここまで活動を続けてこれたのも、お支えいただき、ご意見をくださった多くの市民の皆様のおかげです。感謝の心を忘れず、これからも頑張ります。



金沢市議会議員

熊野盛夫

令和2年度 金沢市議会 12月定例会月議会

令和2年12月1日(火)～12月15日(火)

金沢市のガス・発電事業の民営化について

民営化に当たり、金沢市が示した最低譲渡価格は186億円。本市が、民営化に向けて資産価値等を調べるよう委託したコンサルのPwCアドバイザリー合同会社が、提示していた1,000億円を超える資産価値（売電価格が16.92円を想定したインカムアプローチによる事業評価額）。

なぜ最低譲渡価格が公表されるまでこれらの情報をオープンにしなかったのか、また、この価格差について明快な説明がなければ、民間譲渡について市民の理解は得られないと思われる。市民の理解は得られないと思われる。市民の理解は得られないと思われる。



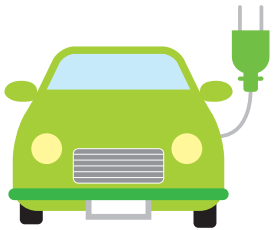
〔市長の答弁〕

検討委員会を開催するに当たり、過去にコンサルタントが試算した事業評価額については、予断を持つことなく議論を進める必要があることから、検討資料への引用を控えたことを御理解願いたい。

選定委員会では、事業評価についてはこれまでの調査研究における試算と同様、簿価、類似企業の財務指標、将来の収益性の3つの方法を用いて算定したところである。簿価以外の方法では、類似企業の規模や将来の収支状況を見通す期間の設定等により、事業価値の額に幅が生じることとなるため、選定委員会においてこうした幅の範囲内にあり、かつ最も客観性の高い簿価によることが最低譲渡価格として適当とされた。

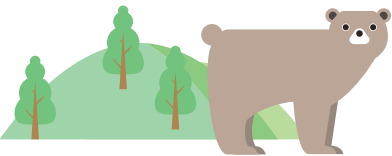
|地球温暖化対策について

金沢市もこれまで温暖化対策に積極的に取り組んできましたが、2030年の目標実現も非常に厳しい状況にあると聞きます。にもかかわらず、2050年のカーボン・フリーという大きな目標を立てられた以上、それに向けて邁進していかなければなりません。そのための対策として必要なものは、2016年に低炭素杯ベスト長期目標賞（自治体部門）大賞を受賞された地方自治体のトップランナーである長野県からどのような施策をどのようなノウハウで進めたかを学ぶことではないでしょうか。



|小松市とかが森林組合がふるさと納税を活用したクラウドファンディングと、ヤマグリやサワグルミ、シイ系の樹木の植林について

今年の熊のまちへの出没回数や度重なる人身事故に多くの市民が心を痛める状況において、小松市とかが森林組合がふるさと納税を活用したクラウドファンディングを始めました。寄附金の使い道は、豊かな森の生活者、熊がすみやすい環境づくり、循環型の森林づくりを進めるための抜本対策として、熊の餌場づくりに向けた地ごしらえ、伐採、クヌギ、コナラなどの植栽、そして小松産コンテナ苗の安定供給に向けた生産基盤の確立などです。開始より13日で223万1,500円の金額が集まっている状況を見ると、腹をすかせてさ迷う熊のために何かしたいとの思いを持った市民、県民はたくさんいると思われます。金沢市も広葉樹林化のモデル地区を選定し、今年度より進めています。現在の熊の出没状況から、さらなる広葉樹林化が求められています。ふるさと納税を活用したクラウドファンディングも、有効な手段の1つだと考えられます。



〔市長の答弁〕

地球温暖化対策は、国も、どの自治体にとっても共通の大切な課題であり、このテーマに限らず先行自治体の事例を参考にし、勉強し、そして我々金沢市の中で発展、昇華させていくということは大切なことだと考えている。市民、企業、行政等の様々な主体がそれぞれの役割と責任を持つとともに、各主体が連携して取り組んでいく必要がある。御提案いただいた先行自治体や様々な官民合同の勉強会の機会についても検討し、具体的な手法を学び、それを具現化していきたい。

また、植樹の際、クヌギ、コナラのブナ林だけでは、ブナ林の不作年に当たると今年のような危険性が高まるため、ヤマグリやサワグルミ、シイ系の樹木についても検討されてみてはいかがでしょうか。

〔市長の答弁〕

熊対策に賛同する方々の意思を目に見える形で反映できる手段として、クラウドファンディングを有効に活用している自治体があるということは承知しているし、私も期待を持って見守っている。ただ、今回、熊防除対策については、今補正予算で追加の措置をお諮りしており、必要な対策を講じているので、まず本市としては、この必要な対策をしっかりと進めていきたい。

〔農林局長の答弁〕

本年度実施する広葉樹林化モデル事業において、動植物の生態系に配慮し、様々な樹種を植栽することとしており、クヌギやコナラだけでなく、ヤマグリなども検討していきたい。

〔市長の答弁〕

古い時代に撮影された写真は、当時の暮らしぶり、まち並み、伝統文化などを今に伝え、金澤町家などの修復やまち並み整備においても貴重な資料となるものであります。

現在、金沢工業大学と連携し、市内の歴史的建造物を記録するために建造物の古い写真の一部をアーカイブ化し、建造物の修復の際の参考としているところであります。一方で、建造物以外の写真につきましては、写っている人の人格権、著作権など、収集や活用に応じたい課題も多いことから、御提案いただきましたことについては、今後の研究課題とさせていただきたい。

令和2年度 金沢市議会 2月緊急議会

令和3年2月15日(金)

|感染防止特別対策に関して

新型コロナウイルスワクチンの接種時における現在の副反応の発生確率と、副反応発生時の対応と情報公開、ワクチン副反応に対する補償についての質疑を行いました。



◎2月緊急議会のその他の質問

ドライブスルー方式のワクチン接種について／濃厚接触者に対応されている施設職員のワクチン接種について／飲食業・宿泊業支援特別対策について／今回の補正予算による支援策において、飲食・宿泊業に限定された理由について

詳細は、市議会議事録HPを御覧ください。

令和2年度 金沢市議会 3月定例議会

令和3年3月1日(月)～3月19日(金)

|金沢市が毎日発信するツイッターやLINE等の新型コロナウイルス新規感染者情報について

〔市長の答弁〕

去年2月に初めて石川県内で陽性者、感染者が発表されたときに県と市で話し合いをした。金沢市の保健所管内であたっが、情報の錯綜を防ぐ観点から、石川県が情報発信の集約をすることにした。それ以降、県で情報等を取りまとめ発信している。本市は、感染状況をより多くの市民に伝えるため、SNS等の情報発信を行っている。

この際留意すべきは、個人情報である。国の指針に従い、必要最小限の情報を伝えている。基礎疾患や常用薬等々のことも国から公表せぬよう通知されており、私もそうあるべきと思っている。年代・性別等に限定をしていることも御理解をいただきたい。目的は、人数やそういうことより、感染拡大の防止につながる情報発信につなげていかなければいけないということであるので、気をつけていきたい。



金沢市公式twitter



金沢市公式LINE

|失われていく写真の保存について

歴史文化都市金沢において、古い写真の数々は、存在しているうちは想像できますが、なくなってしまうともはや語ることは難しくなります。百聞は一見にしかずということわざではありませんが、そこに価値を見だし得るのであれば、市として保存する方向性を示すことが大切ではないでしょうか。



昭和8年頃の野町広小路
(金沢市立玉川図書館所蔵／金沢市写真帖より)

◎12月議会のその他の質問

断熱リノベーションによるゼロエネルギービルの実現、地元建設会社を交えた研究会の設立について／温暖化対策の周知について／金沢美術工芸大学の現在のキャンパスにある植栽について／失われていく写真の活用について／学校付近の住宅街の狹隘道路の事故と対策について／今後のA Iを活用した交通安全対策について

詳細は、市議会議事録HPを御覧ください。